

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

仙北市長 田口 知明



市町村名 (市町村コード)	仙北市 (05215)	
地域名 (地域内農業集落名)	上田沢集落営農地区(仮称) (坂下、打野)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年 6月24日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化が進んでいる。
後継者がいない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

田沢全体から開元、日渡、道目木、上前田を切り離して計画を策定し、既存の集落営農組織に全農地を集積する。
水稻とその他穀物、高収益作物毎の団地を形成し、作業効率の向上を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	26.8 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	26.8 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域内の農地は全て農業上の利用が行われる農用地の区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針 農地中間管理機構を活用し、集落営農組織に全農地を集積する。
(2)農地中間管理機構の活用方針 農地中間管理機構への貸付を基本とし、農地集積、団地化を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針 未協議
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針 未協議
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 未協議

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組方針】 未協議				